



茨城の工業 ～平成30年工業統計調査(平成29年実績)の結果(速報)から～

茨城県政策企画部統計課 商工農林グループ

1 調査の概要

工業統計調査は、明治42年に始められ、100年以上の歴史を持つ調査です。日本の工業の実態を明らかにすることを目的とし、調査の結果は、国や地方公共団体の施策立案の基礎資料や民間企業、大学など、国民生活の幅広い分野で活用され、豊かで住みよい日本を築くために役立っています。

2 調査結果の概要

製造業の事業所（従業者数4人以上）を対象に平成30年6月1日現在で実施した平成30年工業統計調査の結果（速報）のうち、主要項目である製造品出荷額等、事業所数、従業者数についてご紹介します。

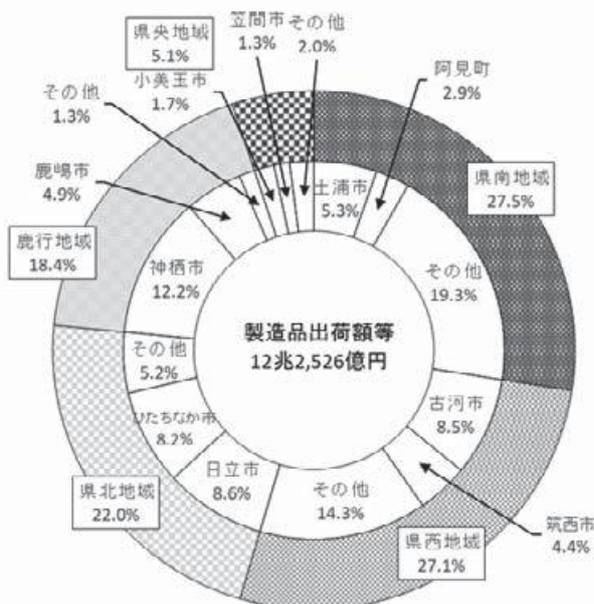
（1）製造品出荷額等

本県の製造品出荷額等は、12兆2,526億円（対前年比+9.3%）で、全国順位は戦後最高の第7位となりました。

地域別にみると、県南地域3兆3,681億円（対前年比+4.3%）、県西地域3兆3,183億円（対前年比+17.3%）、県北地域2兆6,896億円（対前年比+8.6%）、鹿行地域2兆2,572億円（対前年比+9.0%）、県央地域6,194億円（対前年比+2.3%）の順となっており、全ての地域で増加しています。

市町村別では、神栖市が6年連続で第1位（1兆4,897億円）となり、次いで日立市（1兆540億円）、古河市（1兆365億円）の順になっています。

第1図 地域別製造品出荷額等構成比



◆製造品出荷額等の多い市町村

(億円)

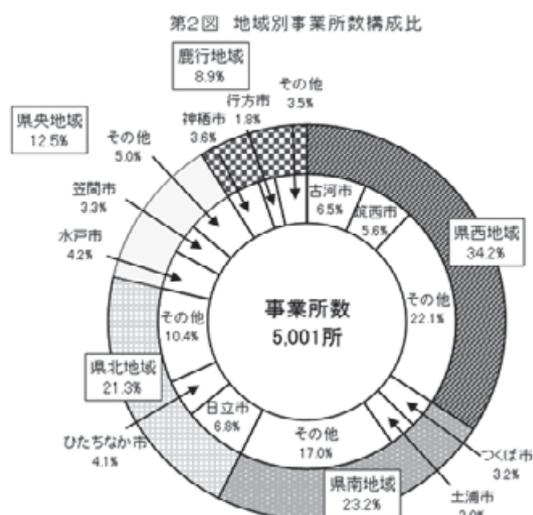
順位	茨城県	122,526
1	神栖市	14,897
2	日立市	10,540
3	古河市	10,365
4	ひたちなか市	10,020
5	土浦市	6,528

(2) 事業所数

本県の事業所数は、5,001事業所（対前年比△3.0%）で、全国順位は第12位でした。

地域別にみると、県西地域1,710事業所（対前年比△3.2%）、県南地域1,158事業所（対前年比△2.9%）、県北地域1,065事業所（対前年比△3.1%）、県央地域623事業所（対前年比△2.5%）、鹿行地域445事業所（対前年比△2.8%）の順となっており、全ての地域で減少しています。

市町村別では、日立市（342事業所）が最も多く、次いで古河市（323事業所）、筑西市（282事業所）の順になっています。



◆事業所数の多い市町村

(事業所)

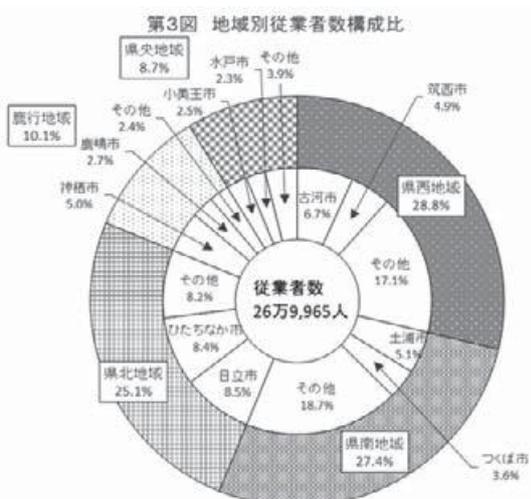
順位	茨城県	事業所数
1	日立市	342
2	古河市	323
3	筑西市	282
4	常総市	232
5	水戸市	211

(3) 従業者数

本県の従業者数は、269,965人（対前年比+2.7%）で、全国順位は第7位でした。

地域別にみると、県西地域77,661人（対前年比+2.7%）、県南地域73,943人（対前年比+3.5%）、県北地域67,640人（対前年比+1.8%）、鹿行地域27,164人（対前年比+6.2%）、県央地域23,557人（対前年比△0.9%）の順となっており、県央地域では減少していますが、それ以外の地域では増加しています。

市町村別では、日立市（22,819人）が最も多く、次いでひたちなか市（22,611人）、古河市（18,204人）の順になっています。



◆従業者数の多い市町村

(人)

順位	茨城県	従業者数
1	日立市	22,819
2	ひたちなか市	22,611
3	古河市	18,204
4	土浦市	13,780
5	神栖市	13,435

◎この調査結果は、本県ホームページ「いばらき統計情報ネットワーク」

<http://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/koko/kogyo30s/index.html>に掲載しています。

◎全国の調査結果は、経済産業省ホームページ

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kougyo/index.html>に掲載されています。